

大多喜斎場無相苑管理運営業務委託公募型プロポーザル評価基準

1 審査の考え方

(1) 審査の考え方

企画提案書の審査にあたっては、「大多喜斎場無相苑管理運営業務委託業務公募型プロポーザル募集要領」、「大多喜斎場管理運営業務委託仕様書」等の関係書類を基に、本業務に対する企画提案書により審査する。

(2) 評価項目、配点

審査は100点を満点とし、次のような評価項目、配点とする。

評価項目				配 点
技術評価	提案者の実績	会社内容及び受託実績		1 0 点
	提案内容	企画提案書	ア 業務に対する基本的な考え	1 5 点
			イ 業務体制に関する考え	1 5 点
			ウ 業務従事者の教育体制に関する考え	1 5 点
			エ 危機管理に関する考え	1 0 点
			オ アピールポイント	1 0 点
			カ 自由提案	5 点
価格評価				2 0 点

技術評価 (基準点に対する換算値)	A	B	C	D	E
	非常に優れている (1.0)	優れている (0.8)	標準的である (0.6)	劣っている (0.4)	不可又は記載なし。 (0.2)

価格評価	別紙、提案価格評価点数表に沿った点数
------	--------------------

(3) 評価点の合計が審査員平均60点以上の場合のみ委託業者とし、60点未満の場合は該当無しとする。

なお、参加表明者が1社であってもプレゼンテーションによる審査を行う。

2 各項目の評価基準

(1) 会社の内容及び受託実績について

本業務を請け負うにあたり、企業の実績が十分であるか審査する。

ア 会社の規模、経営状況を総合的に判断し、将来に安定して業務を行うことができる

経営基盤があるか。

イ 火葬業務の受託実績がある場合は受託件数、内容等はどのようなものか。

(2) 業務に対する基本的な考えについて

本業務を請け負うにあたっての火葬業務、施設の管理運営業務の考え方を審査する。

ア 企画提案者の経営理念やサービスのあり方が本業務にふさわしいかどうか。

イ 業務実施に係る取り組み方針において、本業務の重要性や特殊性を理解しているか。

(3) 業務体制に関する考えについて

本業務を請け負うにあたって安定的な運営ができる体制がとられているかを審査する。

ア 人員配置は適切であるのか。業務従事者の雇用形態はどうか。

イ 配置予定の従事者は業務履行に支障のない知識、経験、資格を有するか。

(4) 業務従事者の教育体制に関する考えについて

本業務を請け負うにあたって、職員に対する業務知識や技術の向上のための考え方を審査する。

ア 業務従事者に対する研修や教育方法が具体的かつ適切に提案されているか。

(5) 危機管理に関する考えについて

本業務を請け負うにあたって、緊急時などの対応能力を審査する。

ア 事故等の発生時の対応が具体的かつ適切に提案されているか。

イ 災害等の緊急事態発生時に迅速かつ十分な体制が構築できる組織能力、バックアップ体制が取れているか。

(6) アピールポイント

本業務を請け負うにあたって、提案者の長所について審査する。

ア 提案の中のアピールポイントが斎場運営や管理に適切であり、サービス向上につながるかどうか。

(7) 業務に関する自由提案

本業務を遂行する中で仕様書にないものに加え、管理運営効率やサービス向上につながる提案について審査する。

ア 仕様書に示した業務に加え、業者のノウハウやアイデアを生かした提案があるか。

3 優先交渉権の選定について

選定委員会により、次の方法で選定する。

(1) 多数の委員から最高順位を得た者。

(2) (1)が複数いる場合、合計得点の高い事業者とする。

(3) 合計点数が同じだった場合は、委員の協議により決定する。